

令和3年度 自己評価結果公表シート

幼稚園型認定こども園 高槻双葉幼稚園

学校法人 高槻双葉学園 学校関係者評価委員会

評議委員
・外部評議委員 8名
・保護者 6名

令和3年度 学校関係者評価委員会実施実績

*第1回学校関係者評価委員会

令和3年 10月21日(木) 10時30分 出席 外部評議委員 2名
保護者 16名

*第2回学校関係者評価委員会

令和4年 3月29日(月) 14時 出席 外部評議委員 3名
保護者 11名

1、本園の教育目標

『たくましいからだ と 豊かな心』

1. 調和のとれた人間性を育てます
2. 心身共に健康な子どもの育成を目指します
3. 知性と情緒豊かな感動を覚える子どもに育てます

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

自己点検・自己評価を継続して取り組む中で見えてきた全員に共通する着手の難しい課題に対して、原因を探り、その課題を解決する必要性を共有し、具体的な実践計画を立てて繰り返し取り組む中で、よりよい保育を確立していく。また園内研修に重点を置き、園内の課題に全員が共通の認識を持つことができるよう努める。

3、重点評価項目の達成及び取り組み状況

重点事項	具体的な取り組み
保育の可視化・発信・共有	・子どもの学び、育ち、姿の意味や良さを解釈と合わせて発信し、園と保護者が共に共有して子どもを援助する環境をよくする。
子育て支援内容の多様化・深化	・子どもが遊ぶ機会、場所を増やし、子どもも保護者も家庭の外の存在とつながる機会、場所を作る。

重点事項	具体的な取り組み目標
保育の可視化・発信・共有	① 園だより、学年だより、ふたば通信、ブログでの保育の発信 ② 保育の様子動画配信
子育て支援内容の多様化・深化	③ 園庭開放の開催 ④ 0歳児、1歳児対象の「たねっこルーム」の開催 ⑤ 園庭開放、たねっこルーム時の保護者同士のコミュニケーションの場の提供 ⑥ 入園内定者の保護者同士のコミュニケーションの場の提供

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

「保育の可視化・発信・共有について」

●中間報告成果

①4月から9月の園だより、学年だよりにて、保育の様子・子どもたちの成長した姿・保育におけるねらいを発信した。

年長は、ふたふう音楽会を7月に開催したが、当日を迎えるまでの子どもたちの取り組みをクラスごとにドキュメンテーションで発信した。保護者から、ドキュメンテーションの発信により、子どもたちの頑張りや成長がよく伝わったという声も聞くことができた。

ふたば通信では幼稚園の保育の理念や、子育てに関することなどを発信していき、その他の手紙やブログでは、実際の子どもの姿を通しての育ちを発信し、保護者と共有していきたい。ブログは、在園児以外の方も見てもらうことができるので、未就園児の保護者に向けても高槻双葉幼稚園の保育をわかりやすく発信していきたい。

②動画配信については、誕生日会や外遊びの様子、音楽会など、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、実施することができなかつた参観や保護者参加を補填するような観点で実施できた。夏休みには子どもたちに向けて、担任からのメッセージ動画を配信した。

●中間報告課題

動画配信については、視聴回数を見ると、視聴回数が少ないものもあり、配信したことを周知する方法、動画の内容などについて、検討していきたい。

●年間報告成果

・毎日の保育の中で子どもたちのエピソードや育ちを、中間報告後の10月以降も継続して毎月のふたばっこだよりやブログにて発信した。行事前には、子どもたちがどのように取り組みを進めているかクラスや学年ごとのドキュメンテーションを配信した。特にこの行事前の取り組みを発信したことは、子どもたちの日々の取り組みや頑が保護者に伝わり、行事当日を見るだけではわからないたくさんの過程と育ちを共有することができたと考える。

・2月の成長展では、「その日に向けての作品作り」ということではなく、普段の遊びの中での製作遊び、また子どもたちが1年間どのように遊んできたか、その中でたくさんの成長を見てもらえる展示を行った。成長展前のドキュメンテーションの配信も行ったが、当日実際に子どもと一緒に保育室を見てももらうことができ、子どもの言葉で普段の遊びや自分たちの作品について伝える機会を持てたことは、何よりの「可視化、発信、共有」ではなかつたかと考える。

成長展後の保護者の感想からも、「1年間の遊びや成長の様子がよくわかつた」「あんなにしっかり話しや説明ができると思っておらず、成長に驚いた」「園での遊びの様子がよくわかつたととてもよかつた」など、たくさんの「育ち」を感じてもらえたことがわかつた。

・動画配信では、3月に各クラスの室内遊びの様子を撮影し、配信した。前回の学校評価中間報告で課題として挙げていた「配信の周知方法」については、お知らせ配信システムから動画配信したことを知らせる際に動画視聴のためのQRコードやパスワードを添付し、動画視聴がしやすいようにした。室内遊びの動画は、保護者参観とは違う普段の子どもたちの様子を見てももらうことができた。

●年間報告課題

・2月に実施した保護者アンケートの中で、「配信されたドキュメンテーションが携帯では見にくい」という意見が多数あつた。1度に伝える量が多いこと、文章が多く読みづらいことなども考慮しながらも、子どもたちの育ちや頑がしっかりと伝わるように考えていきたい。

・同じく保護者アンケートの中で、動画配信の機会を増やしてほしいという意見も多数あつた。今回配信した普段の室内遊びのように、参観とは違つた子どもたちの毎日の様子を見ていただける機会は保育の可視化につながるということで、次年度検討したい。職員が撮影、編集するというので頻繁に行うことが時間的に難しい現状もあるのでできる範囲で改善していきたい。

「子育て支援内容の多様化・深化」

●中間報告成果

③園庭開放の開催 6月29日(火) 32名参加

前期は5月25日、6月15日、9月7日に設定していたがいずれも緊急事態宣言発出の為中止。
後期は10月から2月まで毎月1回ずつ日程を設定している。

④たねっこルームの開催 6月23日(水) ハイハイコース 3組参加

前期は6月16日に「ごろごろコース」を設定していたが、緊急事態宣言発出の為中止。
後期は11月と2月に各コース1回ずつを設定している。

●中間報告課題

⑤ については、実際に開催したハイハイコースでの保護者の様子を見ていて、親として気になることなど、話しが弾んでいる場面があったり、職員に対して、子育ての質問があったりした。小学校高学年から中学生の子どもがいる職員もいるので、そのような今後の子どもの姿が想像できるような話も保護者にとっては聞きたいものなんだな、と感じる場面があった。保護者にとって今後の参考になったり、お互いの悩んでいることを共有できているように感じたので、保護者の中に職員も入って一緒にコミュニケーションが取れる時間を設定したい。

⑥ については、まだ「案」の状態ではあるが、新型コロナウイルス感染症の感染状況も見ながら、ホールなどで子どもを遊ばせながら、親同士が話せる時間を作って交流が持てるようにしたり、入園に向けて、保育の様子や在園児の過ごす様子を伝えて、入園までの保護者の不安を少しでも軽減できる機会を作りたいと考える。

●年間報告成果

- ・園庭開放の開催は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、毎月開催予定にしていたものの、後期は11月と12月の2回のみで開催となった。園庭開放時、園庭開放担当の職員が保護者の方に声をかけ、コミュニケーションを取るようにした。
- ・たねっこルームの開催 11月にハイハイコース、12月によちよちコース、ゴロゴロコースを開催。各回、3～4組の親子が参加。当園管理栄養士も参加し、離乳食の話なども行った。2回目の参加となる親子は、仲が良くなり、つながりができていた。

●年間報告課題

- ・園庭開放は、開催時間中に絵本を読んだり体操をするような時間を設定することも検討する。
- ・たねっこルームは開催回数を増やす。園庭開放と抱き合わせで開催し、参加人数を増やしていきたい。年間で日程を組んで、早めに周知の手紙を貼り出すなどの工夫をする。
- ・入園内定者の保護者同士のコミュニケーションの場の提供については、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、企画できなかった。

5. 重点評価項目の取り組み結果に対しての学校関係者の評価

(※学校関係者…学園理事、評議員、クラス委員代表者)

< 重点事項全体を通して >

第1回評価

1、 保育の可視化・発信・共有に関する「いいですね」という意見

- ・保育の可視化について、手紙だけでなく、動画配信まで積極的に行い、コロナ禍でも試行錯誤しながら新しいことを試されて、発信する取り組みは積極的でよいと思いました。
- ・子どもはまだしっかりと話が出来ないので、園の様子を園だよりやブログで知ることが出来るのは分かりやすく良いです。
- ・行事がほぼなくなり子供の様子が全く見れなくなってしまったので、誕生日会の動画配信は大変良かったです。

- ・子供からはお友達の断片的な情報しか入ってこないのでは、どんな活動をしているかブログや動画で教えていただけるのはとてもありがたいです。
- ・園だよりと各学年のおたよりに加えblogもすごい読み応えで毎回驚いております。コロナ禍に入園し初めて双葉幼稚園に関わらせて頂く保護者でも、全くの不安要素なく我が子を預かって頂きました。(バス通園の方は感じ方がまた異なるかもしれません)
- ・園だよりによりブログやふたば通信のQRコードが表記されていて、記事が更新されている事が分かりやすく良かったです。
- ・動画などで、子どもの様子を見れると普段の様子もわかるので、ありがたいです。
- ・子どもたちの日々の姿、普段の何気無い言葉や会話を保護者の方へ発信出来るのは凄いですね。子どもの成長過程を大事に共有し、見守っていける事はいいですね。
- ・園だより、学年だよりともに、情報が見やすく書かれており、大変助かっています。ブログなども、写真つきで見られるので、様子がわかりやすく、更に保護者側が見たいときに見られるのがありがたいです。
- ・動画配信については、導入していただいて、とてもありがたかったです。
上の子(3月生まれ)のときには、コロナによる休園などで、年少のときの誕生会しか見ることができなかったの…
- ・夏休みの間の動画配信は子供が喜んで何回も見ていました。休みの間も幼稚園のことを身近に感じられるのはとても良かったです。
- ・こまめに幼稚園が発信することにより、保護者も幼稚園の重点評価項目を意識して子供の成長に寄り添えるようになると思いました。普段保護者からは見えにくい先生方の努力(資格所得や会議の内容等)を知ることが出来て幼稚園への信頼度が上がると思います。
- ・コロナ禍で、保育へ実際に参加する機会が減り、日常の様子が分かりづらい状況でしたが、園からのお便りと写真販売で全体の様子がわかるのは良いと思います。個人には別に電話でご対応頂ける事は、安心に繋がっています。メッセージ動画等配信は、普段参加できない父親も拝見でき、大変良いと思います。
- ・お便りやブログ、動画配信で子供たちの様子が沢山知れて嬉しいです。
- ・保育の可視化、発信をしているところが素晴らしいと思います。保護者のなかには普段“先生”がどのように保育をしているのか理解できていない方もいると思うので。私自身保育士として働いていますが、保育士ってただ子どもと遊んでるだけでしょ？というような意見は未だにあります。そんななか、双葉幼稚園の先生方は話し合いをして、今の子どもたちの姿からいろいろなことを考えていること等がお便りや、ホームページからわかることは素晴らしいと思います。読みながら私自身「そうそう！こうやってみんな話合ってるんだよね」と、共感でき、保護者にも伝わっているんだろうなと思います。そして、伝わっているからこそ共有できると思います。

2、 保育の可視化・発信・共有に関しての「ここをもっとこうすればよくなる」という意見

- ・手紙の量と内容・文章量が多すぎる→たくさんのお話を伝えたい、という気持ちはわかるのですが、何が伝えなかったのか？という結論的なところがわかりにくいです。
また、手紙量も多く、コロナ禍で急な行事の変更などあるかとは存じますが、保護者の中で情報管理することが難しいのではと感じます。共働きのご家庭は多いと予測されるので(私も含めて)個人的な意見ですが、今のボリュームの半分以下にして頂けると大変助かります。
- ・発信ツールの一元化について→動画や手紙、メール配信、直近ではLINE配信など、あまりにも保育発信・管理系ツールが細分化されており、一保護者として混乱しています。パスワード変更等も多く、管理できていません。
いっそのこと公式HPにすべて集約させる形にすれば、アクセスしやすく導線もよいのに、と感じます。何かお知らせなどがあるたびに様々な管理ツールに、都度アクセスしなければならず、わざわざアクセスするのに、数回のアクション起こさないと結果にたどり着けない導線です。
せっかくお手間を掛けた動画配信でも、なかなか視聴(アクセス)につながらないのでは？と感じます。
- ・毎日どんな風に過ごしているのか分からない事もあるので、週に一回でも今週はこんな感じのことをしました！とか簡単でも良いのでクラス毎の発信があると良いかなあと思いました。

- ・暑中見舞いの葉書が今年の夏からなくなりましたが、先生から本物の葉書が届いた喜びや、自分で字や絵でお返事を書いてポストに投函するという事は子供にとってもいい教育になると思うので、先生の負担が増えますが、動画を見せるよりも暑中見舞いの復活を検討して頂きたいです。
- ・すでに対応いただけるようですが、学年だよりや園だよりを PDF などでも共有いただけると嬉しいです。誕生日会の動画は、もうすこし子供の近くにカメラがあると見やすく嬉しいです。
- ・コロナ禍に入園した為、先生のお顔を知らないまま今に至ります。担任の先生以外にもお声がけいただく先生が沢山いらっしゃるが大変有難いのですが顔と名前がどうも一致しない現実があります。お名前と一言なにか（ニックネームや特技など）をかいた名札を付けていただくなどしたらより親近感もわいて嬉しいなと思います。
- ・動画配信のお知らせをメールで知らせる際、本文に URL を載せてもらえれば、そのまま動画ページに飛べてもっと試聴しやすくなると思います。
- ・QR コードで読み込むのが少しわかりにくいです。配信の度に、どこから入るのかいいかわからなくなっている保護者もたくさんいます。また、クラスごと、学年ごとなどわかりにくいので、毎回 QR コードは添付されてる方がいいと思います。
- ・これからも、頑張ってください。
- ・ブログとふたば通信の発信者の違いを今回の評価委員会で初めて知ったので、明記したらもっと伝わりやすいかと思いました。
- ・ネット配信も動画などが見れてよいが、配信ばかりではなく、紙媒体のものを子供と読むのも成長にかかせないと思うので、もっと子供と一緒に読めるお手紙を増やしてほしい。
今のお手紙は細すぎて子供には難しいので。
- ・幼稚園のブログや写真付きのお手紙をいつも楽しみに見ていますがより臨場感のある動画配信も増やしてほしいです。
- ・お誕生会の該当月だけでも動画がコピー出来たら嬉しかったです。
- ・誕生日会の動画は自分の子どもが終わってからは見ていません。パスワードを最初の手紙でいただき、一年間使いますよとお知らせはしていただいていたのはわかっています。しかし我が家の場合、幼稚園のプリントはファイルにとじ、扉の中に閉まっているため、わざわざ扉を開けてファイルを開くのがめんどくさいです。毎回プリントに記入していただくと、動画を見よう！と思えます。誕生日会の動画は子どもとの会話のきっかけになるのですが、忙しいなかその作業(扉開ける、ファイルを開く)が大変です...
- ・十分共有していただいているとは思いますが、フレンズクラスに通っているのだから、フレンズさんではどういった活動をしているのか等も知ることができれば嬉しいです。
- ・子供の様子や取り組みはよく分かるのですが、先生方それぞれの人となりとかがもっと知りたいなと思います。担任の先生以外は関わりがなく、あまり存じ上げないので、もう少し身近な存在に感じられるようになれば良いと思います。園だよりやブログで、保育士ならではの豆知識の紹介を順番にしてみようとか、お店のスタッフブログのように、先生のつぶやき日記のようなものを似顔絵付きでやるのはどうでしょうか。(日々のお仕事だけでもお忙しいとは思いますが…勝手なことを申し上げてすみません)
- ・今はコロナ禍でなかなか参観もできないので今のままでいい。

3、子育て支援内容の多様化・深化に関しての「いいですね」という意見

- ・入園内定者のコミュニケーションの場を提供するのはよい案かと感じました。
- ・園庭開放は私も参加した事があるのですが、入園前に幼稚園の雰囲気を知る事ができるので良いと思います。
- ・少人数の参加でもしっかり活動されていて良いと思います。
- ・たねっこルームの時期に保護者同士の交流があるのは、相談などできてとても良いと思いました。
- ・取り組み内容はいずれも素晴らしいと思います。入園まで、親子2人っきりで過ごすことが多く孤独感を感じている親子は意外と沢山いると思うからです。園長先生のお話の中に、子供の成長にとってのベストを尽くすことは勿論ですが先生や保護者の方にも一緒に成長してもらって、という言葉が響きました。

た。皆で成長することが、この地域全体の良さを底上げするのだなと思いました。そういった意味で双葉幼稚園は地域には欠かせない存在ですね。

- ・たねっこルームの利用を1人目だけでなく2人目の方に広がったところが良かったと思います。
- ・入園前に園庭開放に何度か参加させていただきました。そこで顔見知りになった人もたくさんいました。そういう機会がこれからもたくさんあるといいなあと思います。

・頑張ってください。

- ・入園までに自宅保育をしていた者としては、入園前に保護者同士でコミュニケーションを取れる場所があるのは大変ありがたかったです。

・園庭開放などは入園前に、楽しみにしていたので沢山開催してもらえると入園前に幼稚園になれていいと思います。

- ・幼稚園が、安全な遊具や施設、保育のプロの先生方との交流の場を在園児以外にも提供する事は素晴らしい取り組みだと思います。

・コロナ禍でも開催の努力をされていた事。相談の場になる事は大変ありがたいと思います。

・月齢の近い子と繋がれていいと思う。

・たねっこルームや園庭開放の取り組みはいいと思います。

近所付き合いがなかったり、地方から嫁いできたり、周りに気軽にお話できるような人がいない場合は子育て支援を通して繋がるができると思います。

・「たねっこルーム」、コロナの中で開催されるのも大変だとは思いますが、今はこういったコミュニケーションの場がかなり限られているので、こういった場を提供されているのは素晴らしいと思いました。

・たねっこルームは利用させて頂いたことがあり、素敵な取り組みだと思いました。

・子育て支援内容の多様化・深化に関しての「ここをこうすればよくなる」という意見

・小学校以降の主に教育方針的な語り合い（習い事や受験事情、私立学校の情報など）ができる場があればいいのにと感じました。

・やはり主人は平日仕事をしており幼稚園での子供の様子を知る事がなかなか出来ないもので、土曜日に園庭開放のような物があれば良いかなと思いました。（どんな風に新しいふたパークで遊んでるのか気になると話してたので）

・在園児の保護者の交流の場がコロナでなくなったしまったので、保護者の知り合いができず、休園日等に仲の良いお友達と公園で遊びたいと子供に言われても遊べない。幼稚園外で遊ぶとより仲良くなれたりするの、感染対策をふまえて何か交流の場が再開できれば子育てに繋がると思います。

・コロナで難しいところだと思いますが、人数がもっと多いとよいのではないのでしょうか。

・現在行っている活動をこれからも継続して頂けたら素晴らしいと思います。

・入園内定者の保護者同士のコミュニケーションの場の提供を考えておられるとのことでしたが、その際、内定者のうちの在園児保護者に協力いただいて、小グループでコミュニケーションが取れる場所があると、初めて入園される保護者の方の不安などが少なくなるかなと思いました。

・前開催されていた、園庭ピクニックはなくなってしまったのですか？コロナの関係で飲食は難しいとは思いますが、入園前に娘が1番楽しみにしていました。

・オンラインで予約出来たり実施日の具体的なタイムスケジュールを組まれているとコミュニケーションが苦手な保護者や初めて参加する保護者も参加しやすくなると思います。

・幼稚園に入る前に接して頂いた先生が、入った後も関わって頂けると、保護者側の安心になるのではないのでしょうか。

・ただ園を開放するだけでなくイベントがあれば参加したくなる。

・我が家の近所には子どもがあまりいないため、たねっこルームや園庭開放のプリントをもらってもお知らせしてあげられる人がいません。

高槻市の広報など気軽に誰もがみられるようなものに載せられるのであれば、いろいろな人、いろいろな地域から集まりやすいのでは？と、思います。

幼稚園が近隣の地域の方たち対象と考えているのであれば、今のままでいいと思います。

又、入園前の保護者同士のコミュニケーションに関しては、同じ小学校区のおともだちが誰なのかかわかると安心する人もいるかもしれません。進学先が一人でも同じような方向で大きくひとまとめにして...私の場合は近所に子どもがいないため、幼稚園で同じ小学校に行くおともだちが作りたかったため。

・私自身も、双葉幼稚園に通いだしてから「たねっこルーム」の存在を知りました。とても良い場所(取り組み)だと思いますので、より多くの方に知ってもらうためのアピールができれば...と思います。

・過去に園庭開放に参加させて頂いた事がありますが、近隣の幼稚園に比べてこちらはアツサリされているなという印象でした。入園検討者も来るので、もっと園や先生方の魅力が伝わる機会になれば良いなと思います。他園の園庭開放では、自由遊びの時間の他に、参加者皆で踊ったり紙芝居を聞いたりする時間もあり、今度は何をしてくれるのかなという楽しみや、参加者にも一体感が生まれる瞬間があったように思います。

・その他 自由記述欄

・個人懇談会の時間が少なすぎるように感じます。おそらく1保護者10分だったと思います。せめて倍の20分程度に延長できませんか。先生もタイムウォッチを持参しており、保護者の立場からすれば「時間内に手短かに済ませなければ」と感じてしまいます。

特に2号認定の生徒の保護者などは、担任の先生とお話しする機会がほぼなく顔を見ることもなく、日々が過ぎております。お手紙では伝えにくい個人の話を話し合える大変貴重な機会です。双方の信頼関係を持つためにも、個人的に個人懇談の時間を1人あたり時間を延長させた方がよいと思います。

幼稚園としても一生懸命よくしようという姿勢は伝わりますが、現状、すべてのおたよりに目を通して、さらに理解までに至るのが困難です。

「本当に伝えるべきこと」に厳選して簡潔に伝えた方が、幼稚園、保護者間において、連携が取れやすいのではと思います。

・このアンケートを無記名にして頂きたかったです。

・小5の娘に双葉幼稚園出身のお友達が2人いてよく家へ遊びにきてくれるのですが、2人とも素直で明るく聡明で本当に良い子です。そのお子さん達と会う度に、我が子が双葉幼稚園に入園できて良かったなあと感じます。

・丁寧に、そしてこまめに、こどもたちの様子や情報を発信していただいて、ありがたい思いでいっぱいです。保護者としては大変嬉しいのですが、先生方のご負担も大きいのではないかと少し心配しております。

・公立幼稚園や、小学校では本の貸し出しをされているのに、借りて来られなくなった事が非常に残念です。年少の時の読書カードを年中に回収して褒めてほしかったです。

・夏休み期間に配信がありました、先生からの動画は子どもがすごく喜んでいました。フレ

ンズさんに通っているのですが、先生とも会っていたはずなのですが、本当に喜んでいましたので、きっとフレンズさんに通っていないお子さまはもっと嬉しかったと思います。お忙しい中、色々と考えてくださり有り難うございます。

【中間評価を受けて】

① 保育の可視化・発信・共有について

今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、対面での参観や行事が制約される中での前半となりましたが、当園の重点項目としている「保育の可視化・発信・共有」については web 配信を使って前年度よりも更に深化させた内容で保護者に発信することができました。その結果、中間報告のご意見からも「可視化・発信・共有」により、当園の教育理念や子どもの育ちについて、保護者理解が深まっていると感じています。

しかしながら、中間報告に対するご意見で手紙等の配信が多すぎる、また、配信の回数、方法についても煩雑になっている点については、今後、検討し整理をしていきたいと思えます。

② 子育て支援内容の多様化・深化について

今年度、子育て支援として、園庭開放（月 1 回）を軸に子育て相談、たねっ子ルーム（0 歳・1 歳）、にこにこクラブ（2 歳児）等を行っています。コロナ禍において園庭ピクニックは中止しておりますが、状況を見て開催していきたいと思っています。

今回の中間報告に対するご意見から活動に対して一定の評価はいただけたと感じていますが、園庭開放の内容について、再検討が必要であると感じております。

更に保護者の思いに寄り添えるよう保護者目線にたった新たな企画を考えて、子育てを頑張る保護者の一助となれるよう活動できればと考えております。

第 2 回評価

(1) 保育の可視化・発信・共有に関する「いいですね」という意見

- ・写真付きのお手紙や動画配信で様子がうがえる
- ・動画配信など、子どもの普段の様子がよくわかりありがたいです。
- ・保護者の感想にも出ているように、成長展を子どもと共に観られたことはたくさんの「育ち」を共有することに繋がり、良かったですね。
- ・ブログやドキュメンテーションで定期的に配信されるのはすごくいいと思います。又、行事前にも取り組みを配信されるため、本番は注目する点が増え、楽しみになります。
- ・コロナ禍における保育参加の機会減少など、保育の可視化と情報発信は特に重要であると感じました。アンケート結果においてもどの学年も 8 割以上の肯定的な回答を得ていることから今年度の取り組みの一定の成果が見られ、今後も継続的な取り組みを期待します
- ・行事前に中間報告して頂けて、当日まで楽しみにできました。保育の動画は、自然体の子供の様子が見られて良かった。
- ・最後の保育活動の動画配信は普段の姿が見られて良かった。参観やお誕生日会、お母さん先生など普段

の保育が見れる機会が多かった時を知っているだけに、コロナ禍のクラスの様子を見る機会が全くなく不透明だった。今回の動画で普段の園での様子を少し垣間見る事が出来てよかった。このような動画を少しでも多くあげる事で、可視化に繋がると思う。勿論、配信だけではなく、コロナの感染状況を見ながらではあるが、参観も通常通り行える事で可視化に繋がると思う。 ブログも読みやすくて良かった。縦にスクロールしながら文字も読めて写真も見れる所が良い。 手紙の PDF より遥かに読みやすい。

- ・動画の配信、子どもも喜んで一緒に見えています。

(2) 保育の可視化・発信・共有に関しての「ここをこうすればもっとよくなりますよ」という意見

- ・動画はもう少し短くてもいいかもです。
- ・先生のお名前が、お会いしたときにわからないので、先生たちの紹介を何かでもう少ししていただけたら身近に感じられるかなと思います。（門のところに朝立っていた先生がわからなかった）
- ・これからも、続けて行ってくださいね。
- ・そもそも興味がない人はブログやドキュメンテーションのお知らせがあっても見ないと思うので、このままでいいのかな？とは思いますが...
- ・発信頻度が高くなることは実績的には良いと思いますが、情報量が多すぎても受け手側で混乱したり、敬遠されたりする場合もあるかと思えます。ブログやドキュメンテーションなど文章量が多いとどうしても子育て世代の親からは敬遠されてしまう傾向があるため、画像と文章のバランスや記事自体の重みとか関心度をあげるための保護者が共感できるフレーズを入れながら構成するとより効果的なのかとも思えます。 自園のブログでも画像と文章がてんこ盛りだと見ていてしんどくなりますね。
- ・担任以外の先生のことをほとんどわからず、子供の話を聞いてもピンとこない事が以前からあります。もう少し担任以外の先生も身近に感じられるような工夫があればよいのかなと思います。
- ・他の保護者からも、手紙が読みにくい、紙で欲しいと言う声を多数聞いた。特に行事前の手紙、献立の読みにくさの指摘が多かった。保護者にアンケートを取ってみるのも良いと思う。 ペーパーレスの必要性も分かるが、読みにくければ可視化、共有出来ていないと思う。必要に応じて紙での保育の発信の必要性を感じる。検討して頂きたい。 無理ならば、せめてスマホの縦横比率と手紙の縦横比率を合わせた作り方をすべきだと思う。 印刷しないのなら、用紙の大きさに合わせた文字の大きさのものや、横の比率が長い手紙を作る必要はない。どうしても横の比率が長くなるのなら、スマホを横に向けた時に拡大しなくても見えるような比率で作成する事はできないだろうか？ PCサイト用のページがスマホで見にくいような感じに似ている気がする。スマホ用のページがあるように、手紙も改善すれば少しはよくなると思う。検討して頂きたい。
- ・Brain にまとめて共有していただければ助かります。

(3) 子育て支援内容の多様化・深化に関しての「いいですね」という意見

- ・親子がコミュニケーションを取るための場は子供が少ない中いいと思います。
- ・なし
- ・たねっこルームの開催回数を増やせるようだったら、増やして頂ければと思います。
- ・園庭開放などを通していろいろな子育て世代が出会えるのはいいと思います。又、絵本や体操を取り組むことを課題にあげている点は大賛成です。

- ・感染拡大と収束を繰り返す中、その対応に大変ご苦労されたことと思います。そのような中でも出来る限りの手を尽くしながら実施されたことは保護者にとって大きな支援となったのではないかと思います。
- ・たねっこルームや入園前の方々の交流を繋ぐ活動は素晴らしいと思います。
- ・コロナ禍であまり開催出来なかったようだが、活動を続けていることが良いと思う。園庭開放とたねっこルームの抱き合わせのようなものにしたいとおっしゃっており、良い案だと思う。
- ・園庭開放などは、幼稚園や保育園に通う前のお子さまや保護者の方にとってとても良い支援だと思います。

(4) 子育て支援内容の多様化・深化に関しての「ここをこうすればもっとよくなりますよ」という意見

- ・開催の回数と人数が少ないと思いますので感染対策しながらふやしたらいいと思います。
- ・なし
- ・園庭開放やたねっこルームに参加される方のなかには、子育てに悩んでおられる方が結構居られます。また、自分から話すことが苦手な方もおられますので、積極的に寄り添ってあげて欲しいです。
- ・はじめての場所に電話をして申込みのはハードルが高い人もいると思います。インターネットから気軽に申込みると気軽に参加ができるかもしれません。
- ・仕事は増えてしまいますが、こちらのほうも楽しさの可視化の共有ができればいいのかなと思います。
- ・以前からキンダーカウンセリングに興味はあるのですが、皆さんどんなことを相談されているのでしょうか？プライバシーの配慮もあると思いますが、個人が特定されず公開出来る範囲で内容を知りたいなと思います。日々ちょっとした疑問や小さな不安はあるのですが相談するほどか迷ってしまいます。過去の例や回答が閲覧出来たり、メールで臨床心理士の先生や保育や栄養士の先生にも簡易相談できれば良いのにとと思います。
- ・幼稚園のホームページや敷地だけでなく、地域の方に多く知ってもらえるような場所での貼り紙などでお知らせ出来れば、存在を知ってもらえる機会が増えるのではないだろうか。
- ・特にございません。

(5) その他、「いいね」や「こうすればよくなりますよ」というアイデアなどがあればご記入ください

(自由記述欄)

- ・学年日より等からの情報提供がわかりにくいというアンケート結果はドキュメンテーションが携帯電話では見にくいという観点からなのだとすれば、その意見は納得します。パソコンがない家庭や、パソコンが手軽に使えない家庭もあると思います。又、お知らせもLINEやメールでお知らせが携帯電話に届くため、そのまま携帯電話でドキュメンテーションを開く方がほとんどだと思います。せっかく先生方が一生懸命作ってくださっているドキュメンテーションなので、隅々まで見ることができれば双方が気持ちよく納得できると思います。我が家の場合は携帯電話では見にくいのでプリンターで印刷して隅々まで見るようにしています(^)先生方が伝えたいことをたくさん載せてくださっているので、全部見たい！読みたい！という気持ちから印刷していますが、わざわざ印刷しなくてもいいのなら有難いです。ブログのように簡素化すると携帯電話でも見やすくなるとは思いますが、先生方が伝えたいと思っていることが伝わらないのかな...??たくさん写真があったり、手書きでのドキュメンテーションもあったり...本当にすごいと思います。忙しいなかありがとうございます。

- ・プレに通ってる時に、副園長先生のワークショップのような、研修？が2度ほど開催されていたと思うのですが今はないのでしょうか？？当時参加予定だったのですが急遽なくなって残念に思っていました。お忙しいとは思いますが、また機会があればどんなお話をされるのか興味があります。

【評価を受けて】

令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大により、保育や行事が制約を受ける中での活動となりましたが、重点事項に掲げた「①保育の可視化・発信・共有」「②子育て支援内容の多様化・深化」について、重点的に取り組んで参りました。

3月に開催しました最終の学校関係者評価委員会での委員の皆様より頂いたご意見では、①については、概ね可視化への取り組みについては、その趣旨をご理解いただき、一定の評価をいただいたものの、情報量や情報の発信方法については、種々問題提起をいただきました。②については、コロナ禍で本務事業にも制限がかかる中で、最大限の子育て支援活動は行えたと思いますが、本来目指していたものには大きく及びませんでした。その中でも「子育て支援」の重要性を鑑みて、制約下において今年度の活動については、委員の皆様からも一定の評価をいただけたと感じております。

以上、学校評価委員の皆様方の評価、頂いたご意見をもとに、改善点を検討して次年度以降、取り組んで参ります。

学校関係者評価委員の皆様方には1年間、本当にありがとうございました。

令和4年度 重点評価項目

課 題	具 体 的 な 取 り 組 み
・子どもの育ちを共有するために、可視化、発信し、園・保護者・地域をつなげる	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味・関心や遊び、生活の中での育ちを、解釈と合わせて発信し、保護者が園生活について、育ちを含めてわかり、家庭での会話にもつながることを目指す。 ・様々な子育てにかかわる情報や交流の場を提供し、在園・未就園ともに保護者の方が子育てをより豊かに展開できることを支える取り組みを行う。

6、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

幼稚園型認定こども園 園長 岡部圭二